



**熊本大学医学部医学科学生、科学研究で日本一！  
サイエンス・インカレで文部科学大臣表彰受賞！**

(概要説明)

2月28日(土)～3月1日(日)に神戸国際会議場にて第4回サイエンス・インカレ(文部科学省主催)が開催されました。本大会で、本学医学部医学科4年の永芳 友(ながよし とも)君(24歳)が、最優秀者1名に授与される文部科学大臣賞を受賞しました。

インカレ(インターカレッジ)は、大学対抗のスポーツ競技会ですが、その科学研究版がサイエンス・インカレです。日本が将来にわたり、科学技術イノベーションを推進し、持続的に発展していくためには、課題設定能力、課題探求能力、プレゼンテーション能力を備えた次世代の科学技術を担う若者を育成していくことが必要であり、そのためには日頃の研究成果について学生が切磋琢磨するとともに将来の研究活動へのインセンティブを沸き立たせる場を作ることが重要です。しかし、現在のところ、大学学部の学生に対しては、このような機会が不足しています。これらの状況を踏まえ、文部科学省は、学生の能力・研究意欲を高め、創造性豊かな科学技術人材を育成することを目的に、自然科学分野を学ぶ全国の学生が自主研究の成果を発表し競い合う場として、「サイエンス・インカレ」を平成23年度から開催しています。

サイエンス・インカレでは、まず研究分野を

1. 「数物・化学系」
2. 「工学系」
3. 「生物系」

4. 「情報・融合領域系」に分類し、各分野において、全国の大学・高専学校の学生から応募があった研究成果について書類審査をいたします。それぞれの研究分野で書類審査を勝ち抜いた7名の学生が、2月28日に口演発表をいたします。その口演発表が審査され、各分野から1名が最終審査に進みます。3月1日に各分野から選出された4名のファイナリストが口演発表を行い、最優秀賞(文部科学大臣賞、1名)および優秀賞(科学技術振興機構理事長賞、3名)が選出されます。

永芳君は、「精神遅滞の分子機能の解明を目指して」という口演題目で発表を行い、文部科学大臣賞を受賞しました。

本学医学部医学科では、「柴三郎プログラム」という本学独自のプログラムを持っています。このプログラムでは、本学の大先輩である北里柴三郎博士のような基礎研究で人類の健康と福祉に貢献する基礎医学研究医を

養成することを目的にしています。放課後や休日に研究指導を行い、大学院に飛び級で進学し、大学院の単位を学部学生でありながら修得できるという、大変ユニークなプログラムです。永芳君は、本プログラムの学生として、1年生の時から、研究に励んでいました。

本件に関する詳細な情報ならびに永芳君への取材を希望される場合は、富澤までご連絡下さい。

- ・ 文科省サイエンス・インカレ HP : <http://www.science-i.jp>
- ・ 熊本大学・柴三郎プログラム HP : <http://www.shibasaburo-kumamoto.jp>

**【お問い合わせ先】**

熊本大学大学院生命科学研究部(医学系)

担当：富澤 一仁(分子生理学・教授  
柴三郎プログラム運営委員)

電話：096-373-5050

Fax：096-373-5052

e-mail：tomikt@kumamoto-u.ac.jp